



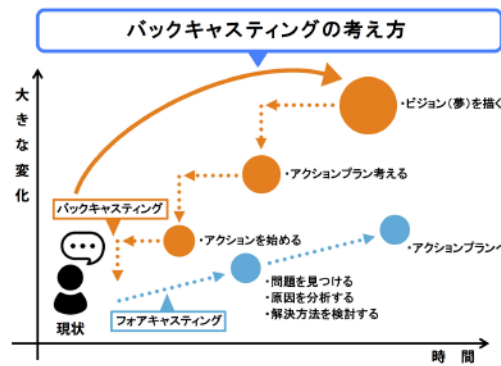
東北芸術工科大学
コミュニケーションデザイン学科准教授
醍醐孝典さん

日本全体の人口が減少する時代に入り、先んじて減少が進んでいる自治体が最先端となる社会になりました。地方では、大都市の姿を追いかけるのではなく、その自治体の本来あるべき姿を市民と行政が協働して創っていくことが必要です。

そこで、皆で共通した理念や将来像を描く時に大事になるのが「バックキャストिंग」という考え方です。何か行動を起こす時、多くの人は目の前の課題に目を向けて行動する「フォアキャストिंग」の考え方で動きがちですが、一般的にはそれでは大きな変化や高い理想にたどり着きにくいと言われています。一方でバックキャストिंगの考え方では、一度遠い理想の未来を描き、そこにたどり着くには今何をすべきなのか、未来から現在に向かって逆算して発想していくので、大きな変化を生みやすいと言われています。そのため、今回のワークショップで「10年後の新庄の将来像」を考えるにあたり、バックキャストिंगを用いることは、今後の指針や計画を共有する上で非常に重要な時間となります。

スノーリゾートで有名な長野県白馬村が市民参加型の総合計画で定めた理念は、「白馬の豊かさとは何か」というものでした。多くの自治体が定める理念では「どんなま

ちを目指すか」といったものが多いので、「疑問形」は特殊な例かもしれません。その理由として、これまで白馬村はスキップームなどを背景に、ホテル建設など過剰な投資を行ったことで、ブームが終わった後、大変な経験をしてきました。計画では、そういった外的要因に惑わされず、村民一人一人が自ら豊かさを問いつける10年にしていこうという理念が共有されたのです。白馬村では、高校でふるさと教育を積極的に取り入れたり、海外からの移住者との共生など様々な活動が始まりましたが、それも全て理念に基づいた活動です。新庄でも、「新庄市ならではの」理念をみんなで探っていけたらと思います。



新庄未来ワークショップ

2019年5月22日(水) 18:30~20:45
新庄市民プラザ 1階大ホール

新庄市では、人口減少、少子高齢化が今後さらに進む中でも、この地域で持続可能で豊かな暮らしをしていくために、2021年度からのまちづくりの指針となる「新庄市総合計画」を策定します。5月22日に行われた「第2回新庄未来ワークショップ」では市民38名が参加し、将来の新庄市がどんなまちになってほしいのかを話し合いました。

Vol.2



第2回ワークショップを終えて

講評 醍醐孝典さん

新庄の将来をキャッチコピーにまとめるという難しいワークでしたが、全チームが高いクオリティでまとめていて驚きました。新庄市はクリエイティビティ(創造力)が高い人が多いのではないのでしょうか。それは議論にも現れていたように思います。例えば「楽しさ」について。楽しさにはテレビを見たり買い物をするなどの誰かに楽しさを提供される受動的なものと、自分たちで楽しさを生み出していく能動的な楽しさの2つがあると思いますが、今日は後者

の楽しさについて議論されていました。また「幸せ」について、近年では幸福学の研究が進んでおり、それによると「ありがたい」「自分らしく」「何とかなる」「やってみよう」という心を大事にすると幸福度が上がるそうです。今日のワークではこれからの時代で重要な考え方やキーワードがたくさん出ており、次回からのチームに分かれての活動がどんなものになっていくのか、今後は楽しみにになりました。



第1回の振り返り



studio-L 昆野哲さん

第1回のワークショップでは、市長から激励の言葉を頂き、新庄市の現状や市民ワークショップの意義と他市町村の総合計画策定の事例について学びました。その後行なった「新庄市の強みと魅力、弱みと課題」を考えるワークでは市職員の皆さんがチームの進行役を務め、多くの人が立ち上がりながら熱く議論しており、ピンクの付箋(強み・魅力)がたくさん出ているのが特徴的でした。今回のワークショップでは、総合計画の策定に必要なアイデアを考えることも大切ですが、一番重要なのは市民のみなさんと市職員が協働でまちづくりを行うことです。10年後の新庄市を一緒につくっていくような創造的な場を目指して、今日のワークショップも頑張っていきましょう！

プログラム

- 開会、あいさつ
- 第1回の振り返り
- 座学
「市民がビジョンを描くことの意義」
- テーブル内自己紹介ワーク
- 「新庄市の将来ビジョンを語り合う」
- 発表、講評
- 閉会

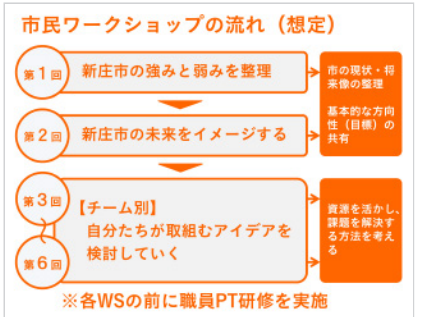
参加者の感想 (アンケートより抜粋)

バックキャストिंगの考え方が勉強になった / それぞれの興味が重なりあって様々なコピーが生まれて楽しかった / 市職員の方の反応や導き方がとても良かった / 若者の参加が多く明るく楽しい場だった / 自分の思っていることを共有するのが楽しく、交流の大事さを知った / 移住者を受け入れてくれる新庄の風土が嬉しくなった / 参加者の創造力に驚かされた / 多様性を感じた / 初めて新庄の将来を考えたので新鮮だった / このワークショップのメンバーなら何でも挑戦出来そうだった

このワークショップの進め方

新庄未来ワークショップは全6回で構成されており、第2回までは新庄市の現状や将来像を整理し、基本的な方向性(目標)をまとめていきます。第3回からは参加者が興味のあるテーマごとのチームに分かれて、新庄市の資源を活かし、課題を解決していくような具体的なアイデアを創出していきます。

今後のスケジュール
第1回: 4月24日(水)
第2回: 5月22日(水) 本日!
第3回: 6月19日(水)
第4回: 7月31日(水)
第5回: 8月7日(水)
第6回: 9月11日(水)



ご案内

「第3回新庄未来ワークショップ」	「第4回新庄未来ワークショップ」
日時: 2019年6月19日(水) 18:30~20:45	日時: 2019年7月31日(水) 18:30~20:45
場所: 新庄市民プラザ	場所: 新庄市民プラザ

お問い合わせ
新庄市総合政策課 企画政策室
tel.0233-22-2115

ワーク 「新庄市の将来ビジョンを語り合おう」

今回のワークショップでは、くじ引きによってランダムに決められた10のチームに分かれて「新庄市の将来ビジョン」について話し合いました。前回と同様にテーブルの進行役を市職員が務め、10年後の新庄市の将来像を描きながらキャッチコピーをつくるという難しいワークにも関わらず、全てのチームがユニークなキャッチコピーをまとめ上げました。

Step1 目を閉じて、10年後の自分を想像してみよう！



Step2 どんな新庄市になってほしいかを、チーム内で発表しよう！（紹介は一部抜粋）

一人一人が心と体が健康で、日々幸せを感じられるまち

笑顔が集まる場所があるまち

年をとっても暮らしていけるような便利じゃなくても不便じゃないまち

個性を認め合うことができるまち

10年後も市民自らまちを豊かにしようとしているまち

人と人が寄り添い合うまち

ないもの探しではなく、あるもの探しができるまち



自己紹介

前回とは違った組み合わせの10のチームに分かれて、名前、所属、特技や趣味、最近うれしかったことについて紹介していました。



Step3 新庄市の今後10年間で大切にしたいキーワードをピックアップしながらキャッチコピーにまとめよう！

チーム：杣蔵山

「Shinjoy ガチャガチャワクワク発見！」

Shinjoyの「joy」はたのしさ、ワクワク感を、「ガチャガチャ」は新庄市民の個性や多様性がガチャガチャたくさんあることを表しています。これからさらに市民の個性が光るようにとの想いを込めて、このキャッチコピーをつけました。

チーム：富士山

「つながれるまち”新庄” ~それが新庄らしさだ~」

人との交流や周りとのつながりを大事にすることが、みんな笑顔で安心・安全の幸せな暮らしにつながるのではないかと考えこのキャッチコピーをつけました。10年後はもっと幅広い繋がりを持つような新庄市でありたいと思います。

チーム：月山

「新たな田舎 親情・深醸・新庄」

都会ほど便利ではなくとも不便ではないという「不便を楽しむ」ということ、新庄が持つ資源をみんなで楽しみながら活かすという「自立」、人口が減っても困った時に声を掛け合えるような「つながり」の3つのテーマからこのキャッチコピーをつけました。

チーム：鳥海山

「へんか いなか せいちょう」

時代が変わっていく変化を楽しもう！という意味を込めました。すべてひらがな表記にしたのは、誰もがわかり、親しめるようにするためです。私たちは変化の中で田舎の良さを再発見したり、お互いに学びあったり成長していける関係性をまちの中でつくっていけるといいなあと思います。

チーム：蔵王

「E(えがったにや〜)A(ありがとさん) C(困ったにや〜)んだら何とかしてみっP(ペ)」

Eには優しさをみんなで分かち合えるような心を、Aには何かしてもらった時にありがとうと言える心を、Cには雪が多くて困った時に、まちの風土を受け入れながら、みんなで何とか乗り越えようという気持ちを込めました。そんな温かくて、プライドの持てるようなまちにしたいです。

チーム：火打岳

「ないことを楽しめる町 可能性∞」

新庄市民の多くは新庄の名物を聞かれると「なにもない」と平然と答えます。もはやその姿勢は私たちの個性と呼べるのではないのでしょうか。一見ネガティブなことを平然と言える私たちを誇りに思い、「ない」ということに可能性の意味を込めて、このキャッチコピーをつけました。

チーム：朝日岳

「誰かの幸せが自分の幸せと 思えるまち新庄」

新庄市民は、自分の生活が豊かになれば幸せになるという考えではなく、誰かが幸せにならないと自分も幸せになれないと考える人が多いと感じています。そのため、10年後も赤ちゃんからお年寄りまで誰一人取り残されることなく、幸せだと感じられるような新庄市でありたいという意味を込めました。

チーム：羽黒山

「HOTする ゆるばーさるハウス新庄」

「ゆるばーさる」とは、「ゆるい」と「ユニバーサル」を掛け合わせた造語です。失敗することへの不安をかき消してくれるような寛容さを持ち、失敗しても逃げる場所があるような、あたたかい場所に、まち全体がなるといいなと思い、このキャッチコピーをつけました。

チーム：葉山

「おいしく生きる あそべ新庄」

私たちはこれからの時代に大切なのは「主体性」であると考えました。たとえ美味しいご飯のお店がなくなってしまったとしても、自分で美味しいものを作れば解決するというような、自ら楽しみを創り出す姿勢が大切であるという想いを込めてこのキャッチコピーをつけました。

チーム：神室山

「10年後への約束 ~住みたくてたまらない新庄~」

あるものを探し、活かす方法を考えること、世代間のつながりを大切に、人と人との垣根がないまちを目指したいという想いを込めました。



キーワード 幸せ / 笑顔 / ワクワク / 楽しい / 成長 / 交流 / 世代間交流 / コミュニティ / 仲間 / 出会い / 個性 / 多様性 / ロマンティック / ゆるい / 素直 / 価値観 / 安心 / 安全 / 新庄らしさ / 家族 / 思いやり / 豊か / 感謝 / やさしさ / 誇り / 対話 / つなぐ / 自然 / 文化 / 自由 / ゆとり / 発想 / チャレンジ / 発信 / 健康 / アイデア / 知恵 / 学び合い / 変化 / おいしい / いきいき / 挨拶 / 活力 / 自助共助 / アナログ / ユニバーサル (一部抜粋)